

五木村立五木東小学校での

自然への取り組み

五木東小学校では、自然のためにたくさんの取り組みをしています。

一つ目は、ボランティア活動です。ボランティア活動は、中学校と合同で、頭地全体のゴミをすみずみまで、集めて村を綺麗にする活動です。

二つ目は植物のさいばいです。植物のさいばいでは、田植え、稲刈り、脱穀などの、米作りなどを行っています。緑の少年団活動では、花を植えたりします。椎茸のこまうちは、三年に一回行います。

三つ目は、リサイクル活動です。リサイクル活動とは、親子で、リサイクル瓶や缶など、リサイクルできるものを集めて、リサイクル工場にリサイクルする活動です。

四つ目は森林教室です。森林教室では、実際に、木をきる工程を見られたり、木のおもちゃを作ったりする活動です。

五つ目は五木東小エコチャレンジです。エコチャレンジは、学校でエコについて取り組んでいることです。合言葉の、《いつき》で節約に取り組んでいます。

<合言葉《いつき》>

いらないものは、リサイクル

名刺より大きい紙はリサイクル箱に

つとめて水を節約します

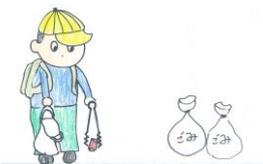
使うときは、えんぴつ1本の水で

きをつけよう つっけばなし

人がいないときは、エアコンをけす、
帰る時は、全部閉めて電気を消して、
コンセントを抜こう

です。

『五木村立五木東小学校（PDSファイル1，6MB）』より
『学校生活—五木村立五木東小学校—熊本県教育情報システム』より



五木村の自然を支える森林組合

<五木村森林組合について>

まず五木村森林組合について説明します。

五木村森林組合とは、森林を持っている人たちがお金を出して組合員となって、組織されている協同組合のことです。

『五木村森林組合』より

<五木村森林組合の主な仕事>

木材の生育管理木材を山から出して木材市場などで販売する、木材の加工・販売です。

『五木村森林組合』より

<五木村の森林資源の特徴>

森林率は、五木村全体の面積の96%を占めています。経済活動の基盤とはなりません。

民有林の13000haのうち、林齢は40年以上の森林が9600haを占めています。

うちスギの面積は6,959ha、ヒノキの面積は4,570haです。

『五木村の森林で自立する村づくりに関する共同宣言』より

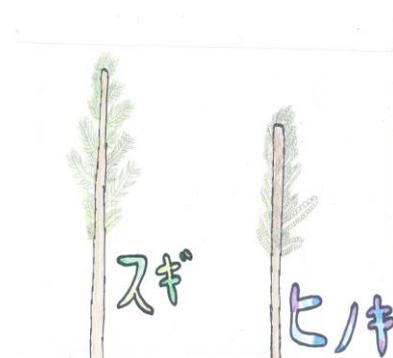


【これまでの取り組み】

- ・森林情報を共有し、民国共通図面を作成GPSの活用立体図の導入
- ・79km路網整備(平成29年度)
- ・1,88haの森林整備
- ・民国連携したシステム
- ・現地検討会:採材検討会、タワーヤーダ、ドローン、一貫作業システム、コンテナ苗低コスト団地

【取り組むべき事例】

- ・森林の情報の共用、活用
- ・路網整備の戦略的展開



- ・生産、流通のコストの低減
- ・主我から造林、保育に係るトータルコスト 『五木地域森林共同施行団地より』より

五木村森林組合は、安心して住み続けることができる誇れる

五木村を目指している 『五木村の「森林で自立する村づくり」に関する

共同宣言』より

自然とのふれあい

五木村では、緑豊かな自然を生かして、自然とのふれあいや、交流をたくさん行っています。特に日本一の清流川辺川での交流が多いです。

川辺川の特徴…BOD 数値が 0.5 mg以下
 河川の BOD 数値平均値による順位ベスト 53 位
 13 年連続清流日本一 『国土交通省』より

1、「川辺川上下流交流イベント」

このイベントは、五木東小学校、相良北小学校、相良南小学校の児童が集まり、川辺川を通して自然と深く親しめるイベントです。川辺川の生き物を観察したり、水質を調べたりします。 『五木東小学校ホームページ』より

2、「五木東小学校と、天草小学校の交流」

この行事は、2018 年から行っています。自然豊かな両方の地域の特徴を生かし、自然と深くふれあいます。五木村で、この行事が行われるときには、主に、カヤック体験や、川遊びなどを行います。

『五木村ホームページ』より



このように、五木村では、自然とふれあえるイベントなどを通して、子どもたちが自然の大切さを学べる機会がたくさんあります。ほかにも「森林教室」など自然に関わる仕事を見学できます。五木村で、自然をたくさん感じられる場所は、宮園の大イチョウや、白滝公園など、様々な場所があります。

この美しい自然をなくさないために、五木村では、たくさんの努力をしています。